

国産バイオ燃料の生産拡大による地域の活性化と雇用の確保 ～ 我が国農林水産業の新たな未来を切り拓く～

日本型バイオ燃料生産拡大対策 80(10)億円



北海道洞爺湖サミットに向けて 食料供給と競合しない我が国独自のバイオ燃料生産拡大策を世界にアピール

2 温暖化防止策・適応策、国際協力を柱とする地球温暖化対策の加速化

【地球温暖化適応策、国際協力 1, 487 (1, 121) 百万円】

対策のポイント

「農林水産省地球温暖化対策総合戦略」に基づき、これまで実施してきた森林吸収源対策等の地球温暖化防止策を加速化させるとともに、新たに地球温暖化適応策及び国際協力を推進します。

(農林水産省地球温暖化対策総合戦略とは)

地球温暖化は加速的に進行しており、地球温暖化対策は喫緊の課題となっています。

このため、農林水産省では「農林水産省地球温暖化対策総合戦略」を平成19年6月に策定し、

- ① 京都議定書の6%削減約束の確実な達成に向けた森林吸収源対策、バイオエタノールの利活用や施設園芸・農業機械等の省エネルギー対策等の地球温暖化防止策
- ② 今後避けることができない地球温暖化の農林水産業への影響に対応するための品種の開発や栽培体系の見直し等の地球温暖化適応策
- ③ 農林水産分野の地球温暖化防止策及び適応策の技術を活用した国際協力を総合的に推進し、地球環境保全に積極的に貢献する農林水産業の実現を図ります。

政策目標

- 高温障害の発生低減技術等の温暖化適応技術の開発・普及
- 我が国の技術を活用した国際協力の推進

<内容>

1. 地球温暖化適応策の推進

(1) 農業生産分野における適応策

「品目別地球温暖化適応策レポート」を踏まえ、水田作、野菜生産等における地球温暖化の影響に適応しうる農業生産技術・取組の導入実証を実施します。

農業生産地球温暖化総合対策事業	総額	1, 038 (0) 百万円
このうち地球温暖化に適応した安定的な		
農業生産技術等の実証・普及分	43 (0) 百万円	
補助率：1/2		
事業実施主体：民間団体		

(2) 農地・農業用水・農業水利施設等における適応策

気候変動により農地・農業用水・土地改良施設が被る影響を評価し、必要となる適応策及びその推進方策の検討を行います。

【気候変動に伴う農業生産基盤に関する適応策検討調査 (公共)

100 (0) 百万円】

(3) 水産分野における適応策

沿岸・内湾のモデル海域において、自動観測ブイ等を用いて海中の温度変化等を把握・データベース化し、養殖業や磯根資源等への影響評価手法を開発するとともに、有効な適応策を検討します。

地球温暖化による沿岸漁場環境への影響評価・適応策検討調査
98 (0) 百万円
事業実施主体：民間団体等

(4) 適応策に関する技術開発

生産現場において短期的に解決すべき高温障害等に適応する生産安定技術等の開発を行います。

地球温暖化が農林水産業に及ぼす影響評価と緩和及び適応技術の開発
総額 455 (276) 百万円
このうち地球温暖化が農林水産業に与える影響評価・
地球温暖化に適応するための技術開発 296 (117) 百万円
事業実施主体：民間団体等

2. 国際協力の推進

(1) 違法伐採対策等の持続可能な森林経営に向けた取組

2次元バーコードによる木材トレーサビリティ技術の現地実証を行い、木材生産国において早急な対策が求められている違法伐採問題への対策を推進します。

木材追跡システム実証事業 32 (0) 百万円
補助率：定額
事業実施主体：民間団体

(2) 森林減少・劣化対策の推進

衛星画像等によって途上国の森林資源動態の要因分析や経年変化を把握できるモデルの開発を行います。また、技術移転や途上国での人材育成を通じて、森林減少・劣化問題に取り組みます。

熱帯林資源動態把握支援事業 40 (0) 百万円
事業実施主体：民間団体

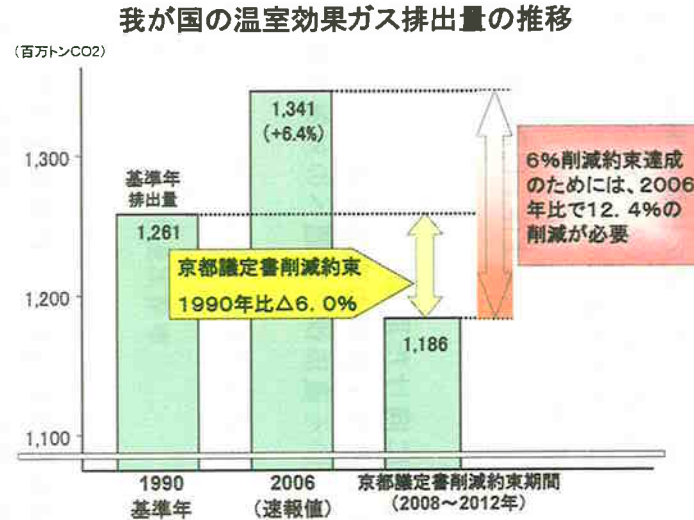
〈地球温暖化防止策の加速化〉

上記のほかに、京都議定書の6%削減約束の確実な達成に向けて、森林吸収源対策、バイオエタノールの利活用、食品産業・施設園芸・農業機械における温室効果ガス排出削減対策、漁船の省エネルギー対策、温暖化防止技術の開発等の地球温暖化防止策を加速化させます。

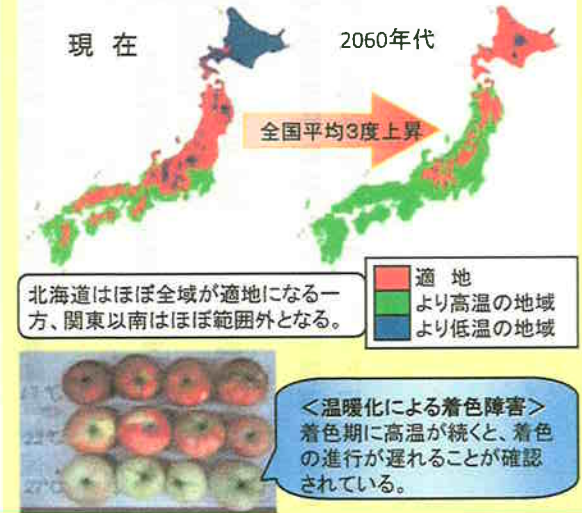
農林水産省地球温暖化対策総合戦略の推進

地球温暖化問題の現状

- 京都議定書6%削減約束の達成は難しい状況
 - ・ 2006年度(速報値)は基準年比で約6.4%増加
- IPCC(気候変動に関する政府間パネル)報告書
 - ・ 地球温暖化は加速的に進行していると断定
 - ・ 農林水産業にも深刻な影響が生じると予測
- 世界全体で地球温暖化対策を推進する必要



温暖化によるリンゴの栽培適地の移動



農林水産省地球温暖化対策総合戦略の策定(平成19年6月)

I 地球温暖化防止策

- ①削減目標値の達成に向け施策を加速化
 - ・ 森林吸収源対策
 - ・ バイオマス資源の循環利用
 - ・ 食品産業等の環境自主行動計画
- ②新たな削減目標値の設定と達成に向けた施策を推進
 - ・ 施設園芸・農業機械の温室効果ガス排出削減対策
 - ・ 環境保全型農業の推進による施肥量の適正化・低減
 - ・ 漁船の省エネルギー対策
- ③その他の排出削減の取組を推進

II 地球温暖化適応策

- ①地球温暖化適応策の推進
 - ・ 既存技術の生産現場への普及・指導
 - ・ 新たな技術の導入実証
 - ・ 影響評価に基づく適応策の検討
- ②技術開発等の推進
 - ・ 生産安定技術の開発 (高温耐性品種の育成など)
 - ・ 農林水産業への影響に関する予測研究
 - ・ 影響予測に基づく適応技術の開発

III 農林水産分野の国際協力

- ①違法伐採対策等の持続可能な森林経営の推進
 - ・ 違法伐採問題の解決に向けた取組
 - ・ 途上国における持続可能な森林経営の推進に向けた支援
 - ・ 国際ルールづくりへの積極的な参加・貢献
- ②我が国の人材・技術を活用した協力
 - ・ 地球温暖化問題の解決に向けた国際研究機関との共同研究の推進

農林水産分野における対策を総合的に推進し、地球環境保全に積極的に貢献する農林水産業を実現